

観光振興計画の施策体系

A	観光地としての受け入れ基盤整備
---	-----------------

成果指標

	指標	計画策定前 (H26)	(H28)	現況値 (H29)	目標値 (H32)
①	観光宿泊客数	9,938人	9,297人	10,235人	14,000人
②	観光レンタルサイクル貸出件数	7件	88件	35件	100件

平成29年度活動実績

・町内の会津三十三観音5箇所（大岩・高田・領家・富岡・相川）に誘導看板を設置した。また、12箇所の観音堂にのぼり旗を設置した。
 ・レンタルサイクル件数内訳は、高田インフォメーションセンター14件、本郷インフォメーションセンター21件となった。（無料貸出）

指標の分析（成果が向上した、又はしなかった理由）

①	・町や極上の会津のHPなどのアクセス数が伸びているので、そちらからの流入が増加の一因と考えられる。 ・特定の宿泊施設において、年間を通して客数が増加したため、全体的な客数の増加につながった（客室の販売方法に一工夫を加えたことで利用が増えた）。
②	平成29年度においては、福島県事業の「コードFリアル宝探し」の宝探し地点が新鶴地域であった。高田・本郷地域の街中が宝探し地点であれば、利用件数はもう少し伸びたものと思われる。このことが今回の減少の一因ではないかと考えられる。

（参考）

アクションプランとの関連性

		DMOの 設立・ 展開	情報発 信とプ ロモー ション	散策 ルート 等の商 品開発	農と食 を活か した観 光の推 進	インバ ウンド 観光の 充実	宿泊拠 点の整 備等	空き店 舗等を 活用し た拠点 整備
観光地としての受け入れ基盤の整備	観光宿泊客数	○	○	○	○	○	◎	○
	観光レンタルサイクル貸出件数	○	○	◎	○	○	○	○

※ ◎・・・特に効果が期待されるもの

○・・・効果が期待されるもの

観光振興計画の施策体系

B	着地型観光の確立
---	----------

成果指標

	指標	計画策定前 (H26)	(H28)	現況値 (H29)	目標値 (H32)
①	会津本郷焼事業協同組合の売上額	112百万円	155百万円	154百万円	224百万円
②	歴史文化事業・施設等への町外参加者数	265人	410人	424人	335人

平成29年度活動実績

・会津本郷焼事業協同組合の構成員で、港区の「青山スクエア」や台東区の「日本酒&特産品フェア」、会津若松市での「会津ブランドものづくりフェア」等の町外でのイベントに参加し、売上げを伸ばした。また、ヒルクライムやあやめ祭り、せと市など町内でのイベントにも出展した。 ・向羽黒整備資料室は、平成28年5月より定期開館（毎月第2日曜日）をしており、民俗資料館においては、夏休みの期間（平成29年8月3日から9日まで）中、特別開館を実施した。また、生涯学習課主催で向羽黒山城跡や文化財関係の講演会を実施した。
--

指標の分析（成果が向上した、又はしなかった理由）

①	対前年からは微減であるが、それぞれの窯元において得意先からの発注は続いている。
②	向羽黒整備資料室や民俗資料館は、継続して定期開館や特別開館を実施している。特に平成29年4月6日に、向羽黒山城跡が「続・日本百名城」に認定となったことで、関心が高まってきたことも増加の要因として考えられる。

（参考）

アクションプランとの関連性

		DMOの 設立・ 展開	情報発 信とプ ロモ ーション	散策 ルート 等の商 品開発	農と食 を活か した観 光の推 進	インバ ウンド 観光の 充実	宿泊拠 点の整 備等	空き店 舗等を 活用し た拠点 整備
着地型観光の 確立	会津本郷焼事業協同組合の売上額	○	○	◎	○	○	○	○
	歴史文化事業・施設等への町外参加者数	○	○	◎	○	○	○	○

※ ◎・・・特に効果が期待されるもの

○・・・効果が期待されるもの

観光振興計画の施策体系

C	観光まちづくりの推進
---	------------

成果指標

	指標	計画策定前 (H26)	(H28)	現況値 (H29)	目標値 (H32)
①	ポータルサイトへのアクセス数	115,961件	113,829件	133,083件	230,000件
②	観光ガイドの回数	56件	68件	83件	70件

平成29年度活動実績

・会津交通観光主催の「会津三十三観音巡り案内人養成講座」や極上の会津プロジェクト協議会の「会津三十三観音めぐりシンポジウム」に参加し、ガイド研修を行なった。 ・首都圏のエージェントを訪問し、旅行商品造成に向けてPRを行なった。 ・桜や法用寺、向羽黒山城跡、中田観音などのガイドを83団体より依頼を受けた（案内箇所の延べ件数は109件）

指標の分析（成果が向上した、又はしなかった理由）

①	町ホームページの「美の旅ガイド」のアクセス数が伸びている。美の旅ガイドパンフレットのQRコードとの連動や極上の会津など、広域でのプロモーションが成果に繋がっていると考えられる。
②	旅行会社に訪問しPRを重ねてきたことで、旅行商品として造成されてきたことが増加の要因と考えられる。特に桜のシーズンや三十三観音関連のガイドが多い。また、街なか散策や向羽黒山城跡のガイドが少しずつ増えている。

（参考）

アクションプランとの関連性

		DMOの 設立・ 展開	情報発 信とプ ロモー ション	散策 ルート 等の商 品開発	農と食 を活か した観 光の推 進	インバ ウンド 観光の 充実	宿泊拠 点の整 備等	空き店 舗等を 活用し た拠点 整備
観光地としての受け入れ基盤の整備	ポータルサイトへのアクセス数	○	◎	—	—	—	—	—
	観光ガイドの回数	○	◎	◎	—	—	○	○

※ ◎・・・特に効果が期待されるもの

○・・・効果が期待されるもの

観光振興計画の施策体系

D	地域連携による観光事業の拡大
---	----------------

成果指標

	指標	計画策定前 (H26)	(H28)	現況値 (H29)	目標値 (H32)
①	海外からのポータルサイトへのアクセス数	—	208件	472件	15,000件
②	観光施設へのWi-Fi 観光の整備箇所数	—	5箇所	7箇所	5箇所

平成29年度活動実績

町内の観光施設2箇所（雀林観光休憩所・ふるさと観光物産館）にWi-Fi機器を設置し、観光情報を町ホームページの「美の旅ガイド」や英語版「トラベルガイド」へのページに直接アクセスできるようにした。
--

指標の分析（成果が向上した、又はしなかった理由）

①	英語版の「トラベルガイド」の完成時期が平成29年2月だったため、平成28年度の実績値と平成29年度の実績値で単純比較はできないが、Wi-Fiからもアクセスできるようにしたので、着実に伸びている。
②	- 既存施設の5箇所の利用件数は着実に浸透してきており利用件数は伸びてきている。（H28年度月平均利用件数255件・H29年度月平均利用件数648件） - 外国人の利用も微増ながら増えてきている（年間利用件数23件）

（参考）

アクションプランとの関連性

		DMOの 設立・ 展開	情報発 信とプ ロモ ーション	散策 ルート 等の商 品開発	農と食 を活か した観 光の推 進	インバ ウンド 観光の 充実	宿泊拠 点の整 備等	空き店 舗等を 活用し た拠点 整備
観光地としての受け入れ基盤の整備	海外からのポータルサイトへのアクセス数	○	○	—	—	◎	—	—
	観光施設へのWi-Fi観光の整備箇所数	○	○	—	—	◎	—	—

※ ◎・・・特に効果が期待されるもの

○・・・効果が期待されるもの